



## 令和9年度 愛媛県立今治西高等学校 特色入学者選抜

### 1 入学時に求める生徒像（アドミッション・ポリシー）

- 将来への目的意識を持ち、向学心の旺盛な生徒
- 本校の歴史と伝統を理解し、その創造と発展に貢献する意思を有する生徒
- 時事問題や今日的な課題に興味・関心を有し、論理的な思考を通して、自己の考えを的確に表現できる生徒
- 温かい人間性と豊かな社会性を持ち、自ら考え判断し積極的に行動できる生徒
- 「螢雪精神」を持って互いに切磋琢磨し、何事に対しても主体的に努力できる生徒

### 2 募集定員（人数）・募集人員（割合・人数）

| 募集定員<br>（人） | 募集人員    |         |
|-------------|---------|---------|
|             | 割合（％程度） | 人数（人程度） |
| 280         | 15      | 42      |

募集人員の中には、3％程度（8人程度）を上限に文化・スポーツ活動の取組・成果等を重視した選抜の人員を含みます。

### 3 出願資格、検査概要等

#### <出願資格>

○次の1～3のいずれかに該当する者

- 1 第1学年から第3学年の各教科の評定において、以下の(1)、(2)のいずれかに該当する者
  - (1) 5教科の評定平均が4.5以上
  - (2) 9教科の評定平均が4.0以上
- 2 英検、漢検のいずれかにおいて2級以上を取得している者、又はそれと同等の資格を取得している者
- 3 校内の野球部又は地域のクラブチームで野球に積極的に取り組み、学習面では本校の授業に十分対応できる学力を有する者で、本校入学後も野球部に所属し3年間継続して勉強と部活動を両立できる者 （文化・スポーツ活動の取組・成果等を重視した選抜に該当）

#### <検査概要>

- 2つの小論文（「小論文①」、「小論文②」）と面接で検査を実施します。
- 「小論文①」の実施時間は40分です。
- 「小論文②」の実施時間は40分で、英語による表現力を問う問題を含みます。
- 「面接」の実施時間は5分程度です。

### ＜備考＞

- 文化・スポーツ活動の取組・成果等を重視した選抜を、募集定員の3%程度（8人程度）を上限に行います。なお、同選抜で合格とならなかった場合は、同選抜を希望していない志願者に含めて選抜します。
- 文化・スポーツ活動の取組・成果等を重視した選抜においては、本校入学後、野球部において活躍が期待できる者を選抜します。

## 4 検査項目等の比率

調査書等、小論文、面接の比率は、以下のようになります。文化・スポーツ活動の取組・成果等を重視した選抜においても同様の比率となります。

| 項目 | 調査書等 | 小論文 | 面接 |
|----|------|-----|----|
| 比率 | 4    | 4   | 2  |

## 5 留意事項

- (1) 募集人員の人数は、愛媛県県立学校振興計画（令和5年3月愛媛県教育委員会）等に表示された各校における令和9年度の定員に対する、募集人員の割合で算出しています。  
**令和9年度愛媛県県立高等学校入学者選抜の募集定員等は、令和8年10月頃にお知らせします。**

- (2) 5教科とは「国語、社会、数学、理科、外国語」を指し、9教科とは5教科に「音楽、美術、保健体育、技術・家庭」を加えたものです。

- (3) 評定平均とは、対象となる教科の評定の合計を対象となる教科数で除した数値（**小数点第2位を四捨五入**）です。

(例) 国語4、社会3、数学4、理科4、外国語5、音楽3、美術4、保健体育4、  
技術・家庭3 →  $(4+3+4+4+5+3+4+4+3) \div 9 = 34 \div 9 = 3.777\cdots$   
→ この場合の評定平均は「3.8」となります

なお、第3学年の評定について、卒業・修了見込みの志願者は、12月末日までの学習状況に基づく評定とします。

**＜(3)の補足＞** 本校の＜出願資格＞1の(1)、(2)は、第1学年から第3学年の各教科の評定における評定平均値なので、**5教科の評定平均の場合は**、第1学年から第3学年の5教科の評定の**合計値を15で除した数値**になります。**9教科の評定平均の場合**も同様に、第1学年から第3学年の9教科の評定の**合計値を27で除した数値**になります。

- (4) 実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)は「英検」、日本漢字能力検定(公益財団法人日本漢字能力検定協会)は「漢検」、実用数学技能検定(公益財団法人日本数学検定協会)は「数検」と表しています。

**＜(4)の補足＞** 英語以外の他言語の能力検定にて2級以上の取得がある者。英語については、CEFRのB1レベルを同等とします。

- (5) 検査項目の「小論文」について、**＜検査概要＞**において説明がない限りは、日本語での論述問題のみを出題します。

**＜(5)の補足＞** 本校では、「**小論文①**」がこれに該当します。